

専攻別特別演習

専攻共通科目	1 単位
講義概要 (内容) 主として履修者の第一副指導教員及び第二副指導教員が、それぞれの研究分野に基づいて履修者の論文研究課題に即した研究指導を行う内容です。主指導教員が指導内容を計画し、副指導教員が中心となり指導を行います。学生には毎年、進捗状況報告会で学位論文の進捗状況について発表を行ってもらい、指導教員陣からの助言を得ます。報告会での助言の他に、指導教員陣の判断で学会参加時等に指導を行う場合もあります。	
評価の方法 進捗状況報告会での発表内容及び指導の過程での状況を含め第一副指導教員と第二副指導教員の所見を元に主指導教員が総合的に評価します。	
講義履修上の注意事項 この科目は、特別研究と同様に指導教員が履修者の学位論文の作成を直接指導するものです。演習は、1年次および2年次の2年間で行うことを標準としますが、指導教員と相談の上、2年間を超えて演習を行うことが可能です。(長期履修生等) 第二副指導教員からの指導は、教員が所属する大学に出かけて講義や研究指導を受ける場合があります。	

○指導教員への補足説明

専攻別特別演習の指導については、1・2年次の進捗状況報告会の開催及びその事前・事後指導をもって特別演習とします。報告会に加えて、これまでどおり学会等に参加した際に指導することも可能です。

提出書類と提出時期について

1年次

進捗状況報告会終了後、主指導教員は副指導教員からの所見を元に「学位論文進捗状況報告会実施報告書」(様式11)を作成し、岩手連大事務室に提出してください。
※長期履修生等で2年間を超えて演習を行う場合は、特別演習終了時期まで毎年、「進捗状況報告会実施報告書」を提出してください。

2年次(最終年次)

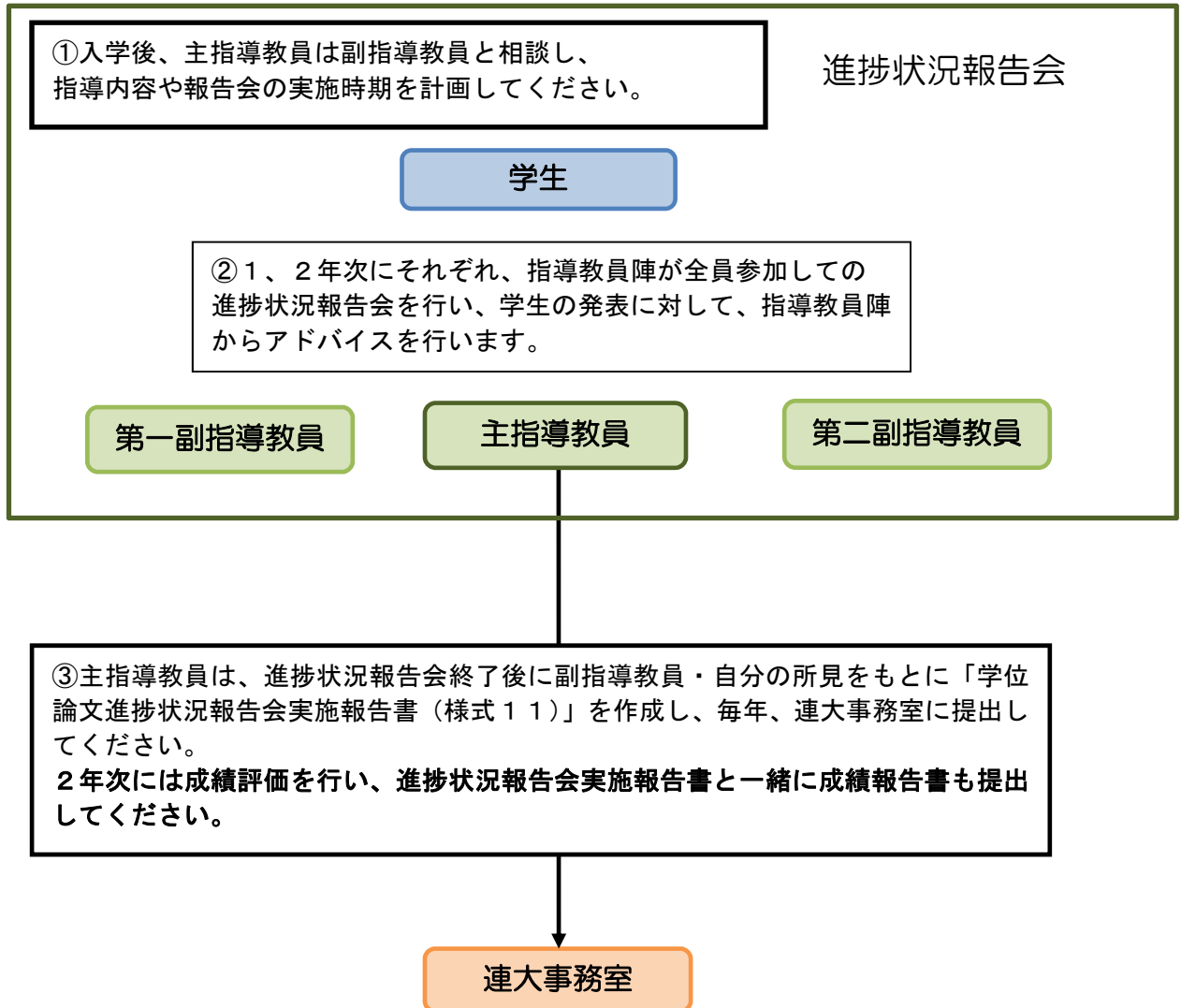
進捗状況報告会終了後、「学位論文進捗状況報告会実施報告書」と一緒に成績報告書を提出してください。成績報告書の提出をもって、特別演習の単位を認定します。
※「学位論文進捗状況報告会実施報告書」及び「成績報告書」の様式は、岩手連大HPでダウンロードできます。

参考：

主指導教員及び第一副指導教員は俸給の調整額を適用する教員として、「研究指導及び論文指導を通じて2単位(1単位は15時間とする)相当以上を担当する者」(4大学間の確認事項、連大関係規則等15頁)とされていますので、それにふさわしい学生指導を特別演習、特別研究のなかで実施するようにしてください。副指導教員2名で15時間程度の指導を目安としてください。

第二副指導教員による研究指導は、今まで通り原則として教員が学生の配属大学へ出向いて行いますが、場合によっては第二副指導教員の旅費の範囲で学生を呼び寄せ指導することができます。

専攻別特別演習の流れ



※進捗状況報告会が終了次第、随時報告して
いただいて構いません。

連大事務室からは、参考に特別演習終了予
定時期である2年次末（4月入学者は2月、
10月入学者は8月）に主指導教員にメール
で連絡します。